

令和5年度

授業改善プラン

- I 「目黒区学力調査」の概要
- II 令和4年度「授業改善プラン」の検証
- III 「目黒区学力調査」等に基づく授業改善プラン
 - ・本校の授業改善に向けた方策（学校全体）
 - ・第1学年～第3学年

令和5年9月
目黒区立第八中学校

I 「目黒区学力調査」の概要

1 調査の趣旨

目黒区立小・中学校の児童・生徒に「学力調査」を実施し、児童・生徒の学習状況を組織的・継続的に調査・分析するとともに、各学校の指導法やカリキュラムの改善・充実を図り、学力の定着・向上を目指す。

なお、本調査は、目黒区立小学校の第2学年～第6学年の児童及び目黒区立中学校の全学年生徒を対象に実施された。（原則として、特別支援学級に在籍する児童・生徒は対象としない）

2 調査の内容

(1) 調査の対象学年及び対象生徒数（本校）

	1 年	2 年	3 年
対象数	66人	58人	78人
実施数	65人	58人	76人
受検率	98%	100%	97%

(2) 調査内容と実施教科

① 学習指導要領に示された目標の達成状況（観点別学習状況）

② 生徒の学習に関する意識

1年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語

2年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語

3年 意識調査、国語、数学、社会、理科、英語

(3) 実施日

令和5年4月13日（木）

Ⅱ 令和4年度「授業改善プラン」の検証

(1) 成果

・観点別正答率

第3学年では、全ての教科の全ての観点で全国正答率を上回った。

第2学年では、数学科で全ての観点で全国正答率を上回った。国語科と理科と英語科では、2観点で全国正答率を上回った。

第1学年では、国語科で全ての観点で全国正答率を上回った。数学科では、2観点で全国正答率を上回った。

・平均正答率（基礎）

第3学年では、全ての教科で全国正答率を上回った。

第2学年では、国語科と社会科と数学科で全国正答率を上回った。

第1学年では、国語科で全国正答率を上回った。

・平均正答率（活用）

第3学年では、全ての教科で全国正答率を上回った。

第2学年では、数学科と理科と英語科で全国正答率を上回った。

第1学年では、国語科と数学科と英語科で全国正答率を上回った。

*学年が上がる事で基礎・活用、及び観点別の正答率が上がっている教科が増えている。本校での学習において、生徒が力を付け、成果をあげてきていると考えられる。

(2) 課題

・観点別正答率

第1学年の社会科と理科と英語では、3観点で全国正答率を下回った。

第2学年の社会科で2観点、国語科と理科と英語科では1観点で全国正答率を下回った。

・平均正答率（基礎）

第1学年の社会科と数学科と理科と英語科で全国正答率を下回った。

第2学年の理科と英語科で全国正答率を下回った。

・平均正答率（活用）

第1学年の社会科と理科で全国正答率を下回った。

第2学年の国語科と社会科で全国正答率を下回った。

*第1学年、第2学年ともに、上記の教科で基礎力の向上を図り、土台をしっかりと固める指導を行う必要がある。併せて、学習習慣が身に付いていない生徒へ指導も必要である。

Ⅲ 目黒区学力調査等に基づく授業改善プラン

本校の授業改善に向けた方策

1 授業改善

- ・学習内容や学習過程の明確化・・・毎年作成している「学習指導計画&評価規準」と「各教科指導と評価の計画」の冊子の活用を進め、教師が学習の見通しをもつと共に、生徒に毎授業のはじめに、ねらいや取り組むことを視覚的に提示し、「授業で何を学ぶか」や「授業で何に取り組む」のかを明確にして取り組む。
- ・学習習慣の定着と基礎力の向上・・・中学校入学段階で、学習に取り組む学習習慣の差は大きく、これらが学力調査の結果に結び付いている事は明確である。特に中学1年生から、各教科で「学び方」を教え、各学年では、年間4回の定期テスト前に「学習計画表」を用いて自らの学習を計画させ、担任が定期考査に向けて計画的に学習に取り組む力が付くように指導していく。また、各教科で基礎力の向上を図る指導に力を入れ、学習習慣の定着と併せて積み上げができる指導を行っていく。
- ・学習用情報端末の活用・・・授業での活用は、各教科で実践し成果をあげているが、自主的な学習や家庭学習での活用はあまりされていない現状である。「Qubena」を、各教科の授業や家庭学習で活用できるようにしていく。

2 学習指導に関わる校内研修

- ・3年目を迎える「新学習指導要領への対応」について、指導と評価の一体化を目指し、講師を招いた校内研修を実施し、評価方法等の改善と共に授業改善につなげる。(令和5年7月20日実施)
- ・「学習用情報端末の活用」について、今年度から導入された「Qubena」の校内研修を活用し、各教科の指導に活用していく。(令和5年5月17日実施)
- ・「特別支援教育の理解」について、第1回特別支援教育研修についての校内の伝達研修を活用し、授業のユニバーサルデザインの実践行っていく。(令和5年6月29日実施)